

テーマ：『 環境教育を通じた潤いのある学習環境づくり』

相模原市立

相模台 中学校

Tel. 042-742-6411

担当者： 佐藤 洋



■ **実践内容：** 本校は平成 21・22・23年度相模原市教育委員会委託「特色ある学校づくり」研究校として、「わかるから楽しい授業づくり」をテーマに授業実践に取り組んでいる。この実践のキーワードは「学びの集団づくり」である。これは平成24年度完全実施の新学習指導要領を踏まえている。この実践を支える「潤いのある学習環境づくり」として、本校教育課程に授業や生徒会活動等における人間関係の醸成を意識した「異学年のふれあい交流」を位置づけ、具体的な活動として「①花いっぱい活動・緑のカーテンづくり」「②校内のペンキ塗り」「③除草作業」「④エコキャップ回収」等を実施している。

■ **実践成果：**

- ① **花いっぱい・緑のカーテン：**各種コスモス類・アサガオ・マリーゴールド・瓢箪・ヘチマ・フウセンカズラ・ゴーヤ等を育てたり、採種・種まき、チューリップ等の球根を増やすなど、地道な活動が定着しつつある。
- ② **エコキャップ回収：**中学校区内の2小学校児童会と連携した小中連携(一貫)活動として定着している。
- ③ **除草活動・校内のペンキ塗り：** P T A 活動の支援を受けた生徒のボランティア活動として定着している。
- ④ ①～③の活動が、「異学年生徒のふれあい交流活動」「保護者・地域による支援活動」として位置付いてきた。

■ **実践ポイント：**

- ① 手応えがある「潤いのある環境作り」(無・ゼロからスタートした実りのある具体的で変化が見える実践活動)を通して、主体的な活動・地球環境・人間関係等の大切さや意義に気づかせる。
- ② 異学年交流を通して、生徒のみならず、教職員間の連携・課題及び解決策の共有化等、学校の活性化を図る。
- ③ これらの活動を通して、生徒・教職員の「自校努力」意識の向上、及び保護者・地域との連携の深化を図る。

